

市へ大きな協力をいただいた桑原定男さん

「ふるさとへの思い」を石田市長と語る

「やっと長年の夢がかなった」

こう言って昨年、飯山の子供たちの教育に役立てて欲しいと多額の寄付をいただいた東京都在住で岡山地区土倉出身の桑原定男さん。

今回、石田市長が東京で桑原定男さん・政子さんご夫妻とお会いし、飯山で過ごした少年時代の思い出やこれまでのご苦労、飯山への思いなどをお聞きしました。

桑原定男(くわばら さだお)さん
大正14年、父・利作さん、母・そのさんの二男として下水内郡岡山村(現在の岡山地区)土倉に生まれる。小学校を卒業し上京、戦後、東京・神田で飲食店を開業。昨年、飯山市の教育のためにと1億円をご寄付いただいた。83歳。

市長 このたびは多額のご寄付をありがとうございました。今日は、これまでの桑原さんのご経験を少しお伺いできればと思っております。

まず桑原さんが土倉で過ごしていた小学校の頃のお話を伺えますか。

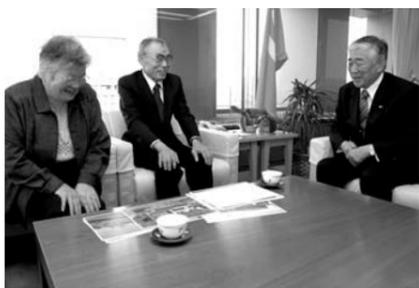
定男さん 家は農家だったので、私も小学校の頃から弟妹の子守、物売りなどをしています。ですから小学校へはあまり通うことができなかったですね。

8歳頃からは兄と二人で当時の岡山村(現在の岡山地区)や、野沢温泉村・栄村まで「鉄の柄」を売り歩いていました。父が山から切り出した

ブナで作った鉄の柄を、体の大きい兄が十数本背負って歩き、小さな私は売り役でした。子供が2人で売りに来るものだから、「もつと負けてくれ」なんて散々大人たちからかわれましたね。こちらを買ってもらわないと困りますから子供なりに考えて「立派な牛です」なんてお世辞を言いながらお願いしたものですよ。

市長 そうした小さな頃から経験が後の人生に生かされたんでしょうか。

定男さん それは大いに役立つと思っていますね。ある時、野沢の虫生へ売りに行ったときのこと、またいつもの



△石田市長と懇談する桑原さんご夫妻

ようにからかわれながら買ってくれないかと話をしていました。でも周りが暗くなり始め、そろそろ諦めて帰ろうかと思つたとき、その家のお父さんが「全部買うよ」って言うてくれたんですね。その

叱る、一方あまり学校に通えなかつた私にも「昨日はいっぱい売れたか？」と声をかけ応援もしてくれました。他にもタケノコの時期になると学校へ味噌とニシンを持ち寄つてみんなでタケノコ汁を作つて食べたことも思い出に残っていますね。とにかく素晴らしい先生、友人に恵まれ過ぎることができました。今回の寄付を教育のために使つてほしいと希望したのも、お世話になつた学校への恩返しの意味もあるんですよ。

市長 小学校が終わつてすぐ東京に出られたそうですね。
定男さん まずは、東京の日本そば店で5年間ほど丁稚奉公をしました。休みはほとんどなく給料もない、そんな生活

活でした。

たまにお客さんの子供にからかわれるんですよ。私もまだ子供でしたし、ある時、悔しいものだから軽くゲンコツで仕返したんです。そうしたらお店の旦那さんにひどく怒られてね。やつぱりお金をもらえる仕事に就くには勉強しておくことが大切なんだと痛感しましたよ。

また戦時中は、兵隊にも行きました。兵士として内地を回りましたが、兵隊ほど楽な所はなかつたですね。それまでは朝から晩まで休みなく働く生活でしたからそう感じたんですよ。

市長 終戦後に本格的に飲食店を始められたのでしょうか。
定男さん そうですね。東京・神田で飲食店を開業しました。

近くに大学が多くあったので、学生の皆さんに大勢来ていただきました。学生さんに勉強を頑張ってもらいたいと、大盛りのお客さんでも残さず食べてくれた時は大盛り代金はいただかなかつたですね。銀行の支店長になつてもタクシーで食べに来てくれるお客さんもいました。そんないいお客さんたちのおかげで

長い間現役で店に立つことができました。お客さんに店を育ててもらい、本当に感謝しています。

市長 奥様の支えも大きかつたんじゃないですか。

政子さん 私は商売が好きで、主人とは別に家業だつた小売店をずっとやってきました。お互いに忙しかつたけれど、ケンカしいしい、この歳までやっていくことができましたね。

市長 東京にいる間は飯山の事を思い出されたりしたんですか。

定男さん もちろん、昔はよく妻にも話したんですが、想像つかないみたいですね。私も忙しくなり、あまり飯山の話をしなくなりました。でも最近、また飯山を思い出すようになったんです。それで準備をして、今回、こういった形で長年の夢を叶えさせてもらいました。

市長 飯山には6年後、新幹線が通ります。新幹線駅開業に向け、市内では工事が進められていくんですよ。

定男さん 私がいた頃からは想像できないですよ。飯山

の発展のための好機ですし、飯山の良さを生かすことができればいいんですけどね。先日、飯山の米をいただきました。これまでは「米だけはおいしいものを」と魚沼産の米を食べてきたんですが、久しぶりに食べた飯山の米が本当においしかった。魚沼産に負けない、おいしいお米ですね。

市長 ありがとうございます。他にもアスパラやキノコなどおいしい農産物や美しい自然が多くあります。桑原さんのご支援に励まされるよう、教育の充実をはじめ発展する飯山市づくりに取り組んでいきたいと思つています。

雪が消えたら私がお案内します。ぜひ昔と違う、変わった飯山を見に奥様とお越しください。

定男さん 飯山へ行くのは数十年前ぶり。本当に楽しみにしています。

政子さん テレビで飯山が出ているのは良く見るとすよ。そばも大好きだし、飯山へ行くのを楽しみにしています。それまで達者でいなくちゃ。

市長 今回は貴重なお話を聞かせていただき本当にありがとうございました。



現在の土倉集落